

中信地域で発生が多かったが、県全体では、ほぼ平年並の発生であった。

病虫害発生予察 5 月月報

(生育概況及び病虫害の調査結果)

令和4年5月の気象表(長野地方気象台)

官 署	平均気温 ℃			降水量 mm			日照時間 h			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
長 野	本年	13.6	16.6	18.4	10.5	26.5	54.5	85.0	41.1	86.0
	平年	15.2	16.0	17.9	19.9	25.5	23.9	70.3	67.6	76.9
松 本	本年	13.5	16.2	18.6	11.5	23.5	35.5	81.0	36.8	91.5
	平年	15.4	16.2	17.7	22.8	32.9	38.9	69.8	70.1	75.6
諏 訪	本年	12.5	15.2	17.7	14.0	33.5	38.0	80.5	37.3	87.1
	平年	14.3	15.2	16.8	32.6	38.3	40.9	67.8	69.7	75.4
軽井沢	本年	9.3	12.0	14.0	21.5	36.0	54.0	82.4	45.5	83.6
	平年	11.2	12.0	13.5	29.2	36.6	43.0	65.1	63.7	69.7
飯 田	本年	14.2	16.4	19.2	14.0	55.5	41.5	86.6	38.2	89.0
	平年	15.7	16.6	18.1	48.8	59.3	45.7	64.1	66.4	74.8

高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、気圧の谷や湿った空気の影響により雷雨や大雨となった日もあった。

5月29日と30日は暖かい空気が流れ込みやすく、晴れて気温が上昇し、真夏日となった所があり、県内3カ所の観測地点で日最高気温の高い方から5月としての1位を記録した。

1 表

(1) 病虫害の発生状況

①麦類赤かび病

5月中旬頃から、南信地域、東信地域の一部の小麦で発生がみられた。

また、5月下旬の巡回調査では、南信地域の1ほ場で発生がみられた。

②さび病

5月下旬の巡回調査では、南信地域、中信地域の一部のほ場で発生がみられた。

③うどんこ病

5月下旬の巡回調査では、中信地域の一部のほ場で発生がみられた。

2 水 稻

(1) 病虫害の発生状況

①育苗期の細菌性病害

一部の苗床で、もみ枯細菌病の発生が多かったが、全般に発生は平年並～やや少なかった。

②苗立枯病

日中と夜間の寒暖の差が大きく、一部の地域でピシウム菌による苗立枯病の発生が、平年と比べ多かった。

③ばか苗病

一部の苗床で発生がみられたが、全般に平年並～やや少ない発生であった。

④ニカメイチュウ

近年、県全体では発生は少なくなっているが、上田地域では発生が多くなっている。

上田市に設置している予察灯への誘殺は、平年に比べやや早い5月第3半旬に初誘殺された。その後、誘殺数が増加し、5月第6半旬の誘殺数は平年と比べ多かった(第1表)。

小布施町のフェロモントラップ調査では、5月第6半旬に初誘殺された(第2表)。

第1表 ニカメイチュウ越冬世代成虫の予察灯への誘殺数(上田市)

区分	5月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平 年	0.0	0.0	0.7	1.2	1.9	5.2
本 年	0	0	2	2	4	16

平年は2012年から2021年までの平均値

第2表 ニカメイチュウ越冬世代成虫のフェロモントラップ誘殺消長(小布施町)

区分	5月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平成元年～30年の平均	0.5	0.4	2.6	8.2	21.7	36.6
平 年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.4
本 年	0	0	0	0	0	1

平年は2012年から2021年までの平均値

⑤イネミズゾウムシ

アメダス気象データを用いて、有効積算温度から算出した越冬地からの半数脱出推定時期は、平年と比べ早い地点が多かった。

特に県南部では、平年と比べ10日以上早い地点があった（第3表）。

第3表 イネミズゾウムシ越冬後成虫の越冬地からの半数脱出推定時期

アメダス	佐久	上田	諏訪	伊那	飯田	木曾 福島	松本	大町	長野	飯山
平年	5/14	5/10	5/19	5/11	5/ 8	5/17	5/ 9	5/25	5/11	5/16
本年 (平年差)	5/11 (-3)	5/ 5 (-5)	5/12 (-7)	4/28 (-13)	4/26 (-12)	5/ 7 (-10)	5/ 2 (-7)	5/24 (-1)	5/ 7 (-4)	5/17 (+1)

平年は2012年から2021年までの平均値

JPP-NET『有効積算温度計算シミュレーションversion2』により算出

3 **りんご**

(1) 生育概況

6月1日の果実肥大は、平年並の傾向である（第1表）。

第1表 りんごの果実肥大状況 須坂市（果樹試験場）

調査日	つがる								ふじ							
	縦径(mm,%)				横径(mm,%)				縦径(mm,%)				横径(mm,%)			
	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比
6/1	28.7	32.4	28.9	101	27.9	29.9	28.5	102	26.6	29.1	27.0	101	26.9	26.2	27.2	101

平年は2007年～2121年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①うどんこ病

巡回調査では、発生はみられなかった。

②斑点落葉病

巡回調査では、北信地域の1ほ場で発生がみられた。

③黒星病

巡回調査では、果そう葉及び新梢葉ともに、発生はみられなかった。

④腐らん病

巡回調査では、北信地域の3ほ場で胴腐らん、北信地域、東信地域、南信地域の5ほ場で枝腐らんの発生がみられた。

⑤ハダニ類

巡回調査では、東信地域の1ほ場でリンゴハダニの寄生、北信地域、中信地域の2ほ場で、ナミハダニの寄生や卵がみられた。リンゴサビダニの寄生は、みられなかった。

⑥キンモンホソガ

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップ調査では、6月上旬までの誘殺状況は平年並であった（第2表）。

第2表 キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

月	4月			5月						6月		
	半月	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	3.7	7.3	1.9	5.3	0.7	0.6	0.3	1.3	10.7	32.7	83.7	
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	19.0	19.0	
本年	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	11.4	8.8	

平年は2012年から2021年までの平均値

⑦ハマキムシ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

⑧ナシヒメシンクイ

巡回調査では、寄生はみられなかった。

4 **なし**

(1) 生育概況

6月1日までの果実肥大は、平年と比べやや大きい傾向である（第1表）。

第1表 なしの果実肥大状況（mm）

高森町（南信農業試験場）

品 種	区分	5月15日		6月1日		6月15日		7月1日	
		横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径
二十世紀	平年	16.4	17.6	26.5	26.1	32.9	31.3	39.4	36.4
	前年	18.5	19.4	27.2	27.8	32.9	32.2	40.7	39.4
	本年	18.0	19.3	27.2	27.4				
幸 水	平年	15.2	14.4	26.7	23.3	34.1	29.2	42.8	35.5
	前年	18.3	16.7	27.9	24.8	36.0	30.6	45.0	38.1
	本年	17.9	16.1	29.9	25.8				
豊 水	平年	18.2	18.5	28.4	26.8	35.1	32.6	42.7	38.6
	前年	20.2	19.0	29.4	27.4	36.4	32.5	44.3	40.4
	本年	19.9	18.9	30.9	28.0				

平年は2001年から2020年までの平均値（幸水は長果枝と短果枝の平均）

(2) 病害虫の発生状況

①黒斑病

巡回調査では、発生がみられなかった。

高森町（南信農業試験場）の調査では、越冬病斑上の胞子形成度は5月第6半旬より高い状態となり（第2表）、アルタナリア属菌の胞子捕捉数は、5月第2半旬から飛散が確認され、増加傾向にある（第3表）。

殺菌剤無散布の果実及び新梢葉の発病は、5月中旬からみられた（第4、5表）。

第2表 越冬病斑上の胞子形成度 高森町（南信農業試験場）

区分	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	14.8	9.6	20.0	15.2	27.7	22.8	24.3	20.8	40.0	32.8	35.7	47.5
前年	0.0	0.0	0.0	3.3	6.7	6.7	4.2	3.3	0.0	5.0	23.3	40.0
本年	0.0	0.0	3.3	8.3	15.0	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0	5.6	23.3

平年は2012年から2021年までの平均値

※値100の場合は1個の病斑に100個以上胞子を形成している状態。

第3表 アルタナリア属菌の胞子捕捉数(個) 高森町(南信農業試験場)

区分	5月						6月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	3.1	3.9	4.8	9.1	6.7	14.1	16.5	24.8	40.2	30.0	23.7	21.4
前年	8.0	13.0	1.0	3.0	6.0	26.0	6.0	19.0	1.0	26.0	37.0	13.0
本年	0.0	2.0	2.0	20.0	11.0	30.0	39.0					

平年は2012年から2021年までの平均値、18mm×18mm当たりの胞子数

第4表 ナシ黒斑病 果実の発病(%) (「二十世紀」殺菌剤無散布)

高森町(南信農業試験場)

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	0.0	0.9	1.8	4.2	8.3
前年	0.0	0.0	9.0	15.4	9.4	16.4
本年	0.0	0.4	1.0	0.9		

平年は2012年から2021年までの平均値

第5表 ナシ黒斑病 新梢葉の発病(%) (「二十世紀」殺菌剤無散布)

高森町(南信農業試験場)

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.1	0.1	2.0	3.6	7.2	15.6
前年	0.0	0.0	17.0	13.2	18.9	31.6
本年	0.0	1.6	0.0	17.3		

平年は2012年から2021年までの平均値

②黒星病

巡回調査では、南信地域の2ほ場で発生がみられた。

高森町（南信農業試験場）の調査では、子のう胞子の飛散ピークは概ね平年並であった（第6表）。殺菌剤無散布の果実及び新梢葉の発病は、5月上旬からみられた（第7、8表）。

第6表 ナシ黒星病菌子のう胞子飛散消長(個)

高森町(南信農業試験場)

区分	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	11	181	430	1,635	5,307	2,341	3,845	3,659	1,458	1,966	763	333
前年	0	0	47	10	0	96	98	223	811	13,487	5,752	648
本年	0	0	3	27	109	1,423	378	574	1,733	1	243	51

平年は2012年から2021年までの平均値

罹病葉から飛散する子のう胞子数

第7表 ナシ黒星病 果実の発病(%) (「幸水」殺菌剤無散布)

高森町(南信農業試験場)

区分	4月	5月			6月		
	25日	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	1.6	12.6	26.5	29.4	34.3	43.8	47.9
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	11.2	5.5
本年	0.0	1.0	27.4	25.5	38.5		

平年は2012年から2021年までの平均値

第8表 ナシ黒星病 果そう葉の発病 (%) (「幸水」殺菌剤無散布)

高森町 (南信農業試験場)

区分	4月			5月			6月			
	25日	5日	15日	25日	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	1.4	5.3	18.6	35.3	49.7	58.3			
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	9.1	12.9			
本年	0.0	0.0	2.1	38.3	43.8					

平年は2012年から2021年までの平均値

③赤星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

④ハダニ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑤リンゴコカクモンハマキ

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町 (南信農業試験場) のフェロモントラップ調査では、5月第4半旬に誘殺がみられた (第9表)。

第9表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長 (頭)

高森町 (南信農業試験場)

区分	5月						6月	
	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	0.0	0.0	0.1	0.1	1.2	1.0	1.0	0.8
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	1.0
本年	0.0	0.0	0.0	1.0	0.5	1.5	1.0	0.5

平年は2012年から2021年までの平均値

⑥ナシヒメシクイ

巡回調査では、芯折れ被害は認められなかった。

高森町 (南信農業試験場) でのフェロモントラップ調査では、平年並の誘殺であった (第10表)。

第10表 ナシヒメシクイのフェロモントラップ誘殺消長 (頭)

高森町 (南信農業試験場)

区分	5月						6月	
	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	4.8	1.9	1.3	1.4	0.6	0.1	0.4	0.6
前年	1.0	1.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
本年	1.5	1.5	0.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑦カメムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町 (南信農業試験場) のフェロモントラップ調査では、クサギカメムシ及びチャバネアオカメムシの誘殺は、平年や前年と比べ遅く、初誘殺は確認されていない。

第11表 カメムシ類の誘殺状況 (頭)

高森町 (南信農業試験場)

区分	月 半旬	5月						6月	
		1	2	3	4	5	6	1	2
クサギ	平年	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1
	前年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
チャバネ アオ	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	前年	1.0	0.2	0.2	1.0	4.0	0.0	13.0	16.0
	本年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

平年は2012年から2021年までの平均値

5 もも

(1) 生育概況

6月8日までの果実肥大は、「あかつき」「川中島白桃」とともに、平年と比べ大きい傾向である (第1表)。

第1表 ももの果実肥大状況

須坂市 (果樹試験場)

品種名	月日	縦径(mm)			横径(mm)			側径(mm)			指数		
		平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年
あかつき	6/1	35.7	38.5	36.9	31.0	35.2	31.5	26.6	31.0	26.9	10.5	12.8	10.8
	6/8	42.2	45.5	44.3	38.8	43.3	39.8	34.5	39.6	35.5	15.7	18.9	16.7
川中島 白桃	6/1	33.3	38.4	38.4	28.7	34.9	32.1	24.2	29.4	27.0	9.1	12.4	11.4
	6/8	40.5	45.8	46.3	37.3	43.7	41.7	32.1	37.9	35.5	14.3	18.7	17.9

平年はあかつきは2011年から2021年まで、川中島白桃は2002年から2021年までの平均値

※指数：縦径×(横径+側径)÷2÷100

(2) 病害虫の発生状況

①せん孔細菌病

巡回調査では、発病葉はみられなかった。

②縮葉病

巡回調査では、東信地域、中信地域の2ほ場で発生がみられた。

③ハダニ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

④モモハモグリガ

巡回調査では、東信地域の1ほ場で被害葉がみられた。
須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップ調査では、5月下旬から第一世代成虫の発生がみられた（第2表）。

第2表 モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長（頭）
須坂市（果樹試験場）

区分	5月						6月	
	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	7.5	1.6	2.6	1.2	3.7	13.1	88.9	116.2
前年	1.0	0.0	0.0	1.0	5.0	7.0	4.0	2.0
本年	0.5	0.2	0.2	0.0	1.5	5.5	6.2	8.3

平年は2012年から2021年までの平均値

⑤アブラムシ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

⑥カメムシ類

巡回調査では、被害果実はみられなかった。
須坂市（病害虫防除所）のフェロモントラップ調査では、平年並の誘殺であった（第3表）。

第3表 チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺消長（頭）
須坂市（病害虫防除所）

区分	5月						6月	
	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	1.2	0.2	0.8	1.2	1.7	1.3	4.4	1.7
本年	0	0	0	0	0	3	1	0

平年は2014年から2021年までの平均値

※日本すももの園地に設置

6 **ぶどう**

(1) 生育概況

須坂市（果樹試験場）の開花期は、平年並であった（第1表）。

第1表 ぶどうの生育状況 須坂市（果樹試験場）

品種名	区分	発芽期	展葉期	開花期	満開期	落花期
巨峰	平年	4/27	5/3	6/8	6/11	6/14
	前年	4/24	5/2	6/7	6/10	6/14
	本年 (平年差)	4/25 (-2)	5/2 (-1)	6/8 (±0)		

平年は1991年から2020年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①灰色かび病

巡回調査では、発生はみられなかった。

②べと病

巡回調査では、発生はみられなかった。

③うどんこ病

巡回調査では、発生はみられなかった。

④黒とう病

巡回調査では、発生はみられなかった。

前年に発生が多かったほ場や、発芽前防除の時期がずれてしまったほ場では、発生が散見される。

7 **野菜・花き**

(1) 病害虫の発生状況

①トマトの病害

巡回調査では、中信地域の一部施設（半促成）栽培ほ場で、灰色かび病の発生がみられた。

②きゅうりの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

③キャベツ、ブロッコリー、はくさいの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

④レタスの病害

巡回調査では、東信及び中信地域の一部ほ場で、腐敗病の発生がみられた。

⑤タマネギの病害

巡回調査では、中信及び北信地域の一部ほ場で、べと病の発生がみられた。
また、中信地域の一部ほ場で、ネギアザミウマが媒介するIYSV（アイリスイエロースポットウイルス）による、タマネギえそ条斑病の発生が確認された。

水田転作で白ネギの作付けが増えており、感染に注意が必要である。

⑥アザミウマ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、南信及び中信地域の施設（半促成）栽培のきゅうり、南信及び北信地域のアスパラガス、中信地域のたまねぎ、中信地域のねぎの一部ほ場で寄生がみられた。

青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺消長調査は、概ね平年並であった（第1表）。

第1表 アザミウマ類の青色粘着トラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.0	0.5	1.0	1.8	0.5	1.8
		本年	2	0	0	0	0	0
諏訪郡富士見町 (防除適期決定ほ)	きく	平年	0.8	1.2	1.6	6.8	12.0	3.7
		本年	2	1	0	13	8	11
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	0.8	0.0	2.2	3.1	1.5	2.1
		本年	0	4	6	3	1	3
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	0.5	0.0	0.8	0.5	0.5	1.5
		本年	0	0	0	0	1	1

平年は富士見町・塩尻市では2017年から2021年までの平均値
上田市・長野市では2018年から2021年までの平均値

⑦アブラムシ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、南信地域のブロッコリー、北信地域のアスパラガスの一部ほ場で寄生がみられた。

黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の誘殺消長調査は、概ね平年並であった（第2表）。

第2表 アブラムシ類有翅虫の黄色粘着トラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・はくさい	平年	0.5	2.0	2.0	2.2	5.0	9.8
		本年	2	1	10	6	10	17
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	6.2	5.2	7.4	10.4	24.6	19.8
		本年	5	2	3	7	9	16
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.3	0.5	2.5	1.5	3.8	4.8
		本年	0	3	1	0	0	1
富士見町富士見 (地区発生予察ほ)	きく	平年	3.8	7.4	6.4	53.8	53.4	32.3
		本年	4	3	14	22	33	74
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	4.3	2.5	8.8	20.8	24.8	28.3
		本年	0	2	9	2	4	22
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	1.2	2.2	3.4	3.4	7.5	13.2
		本年	0	0	2	2	2	2

平年は塩尻市・小諸市・富士見町では2017年から2021年までの平均値
上田市・長野市では2018年から2021年までの平均値

⑧ハモグリバエ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、中信地域のたまねぎの一部ほ場で寄生がみられた。

⑨コナガ（アブラナ科野菜）

巡回調査では、南信地域のブロッコリーの一部ほ場で寄生がみられた。

フェロモントラップによる調査では、諏訪郡原村（防除適期決定ほ）で5月第2半旬に急増し、以後5月を通して、平年に比べかなり多い誘殺数で推移した。

塩尻市宗賀（県発生予察ほ）、東筑摩郡朝日村（地区発生予察ほ）及び長野市上ヶ屋（地区発生予察ほ）の誘殺数は、平年と比べ少なめであった（第3表）。

第3表 コナガのフェロモントラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分 半旬	5月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	6.8	11.5	14.4	21.2	21.6	20.5
		本年	3	4	3	1	7	6
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	5.1	5.8	10.7	16.5	11.8	3.3
		本年	9	10	30	9	27	17
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.1	0.1	0.1	0.3	0.7	0.0
		本年	0	0	1	0	2	0
諏訪郡原村 (防除適期決定ほ)	ブロッコリー	平年	4.1	4.7	8.7	13.3	24.3	17.2
		本年	1	28	71	24	36	51
東筑摩郡朝日村 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	13.0	19.3	22.3	26.7	21.0	29.3
		本年	0	2	2	3	9	5
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	2.4	7.1	19.4	20.6	33.2	33.8
		本年	5	19	33	20	18	5

平年は2012年から2021年までの平均値。朝日村は2019年から2021年までの平均値

⑩オオタバコガ

巡回調査では、被害は確認されなかった。

フェロモントラップによる調査では、誘殺数は概ね平年並であった(第4表)。

第4表 オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分 半旬	5月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.5	0.6	1.2	0.9	2.8	2.7
		本年	0	0	0	2	0	0
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	0.8	1.0	1.9	1.9	1.5	5.0
		本年	3	1	3	0	5	8
須坂市小河原 (農業試験場)	レタス	平年	0.1	0.1	0.5	0.3	0.2	0.8
		本年	0	0	2	0	0	1

平年は2012年から2021年までの平均値

⑪ヨトウガ類

巡回調査では、被害は確認されなかった。

フェロモントラップによる調査では、ヨトウガは塩尻市宗賀(県発生予察ほ)で第4半旬に急増し、以後5月を通して、平年に比べかなり多い誘殺数で推移した(第5表)。

ハスモンヨトウの誘殺数は、概ね平年並であった(第6表)。

シロイチモジヨトウは、5月中の誘殺はなかった(第7表)。

第5表 ヨトウガのフェロモントラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分 半旬	5月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.9	0.8	3.1	6.0	5.6	10.6
		本年	2	4	10	22	29	20
須坂市小河原 (農業試験場)	とうもろこし・ 水稻	平年	4.7	3.7	5.1	5.0	4.9	4.4
		本年	1	16	10	2	7	9

平年は2012年から2021年までの平均値

第6表 ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分 半旬	5月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.0	0.0	0.0	0.3	0.9	0.7
		本年	0	1	0	0	0	0
須坂市小河原 (農業試験場)	とうもろこし ・水稻	平年	0.5	0.1	0.0	0.3	1.2	2.0
		本年	0	0	0	0	0	0
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.0	0.1	0.0	0.8	0.3	0.3
		本年	0	0	1	5	3	0

平年は2012年から2021年までの平均値

第7表 シロイチモジヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.0	0.0	0.5	0.2	0.2	0.3
		本年	0	0	0	0	0	0
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.3
		本年	0	0	0	0	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑫チョウ目害虫

巡回調査では、東信及び中信地域のキャベツ、東信地域のブロッコリー、中信地域のはくさいのほ場で寄生がみられた。

⑬ハダニ類

巡回調査では、南信地域の施設（半促成）栽培きゅうりのほ場で寄生がみられた。